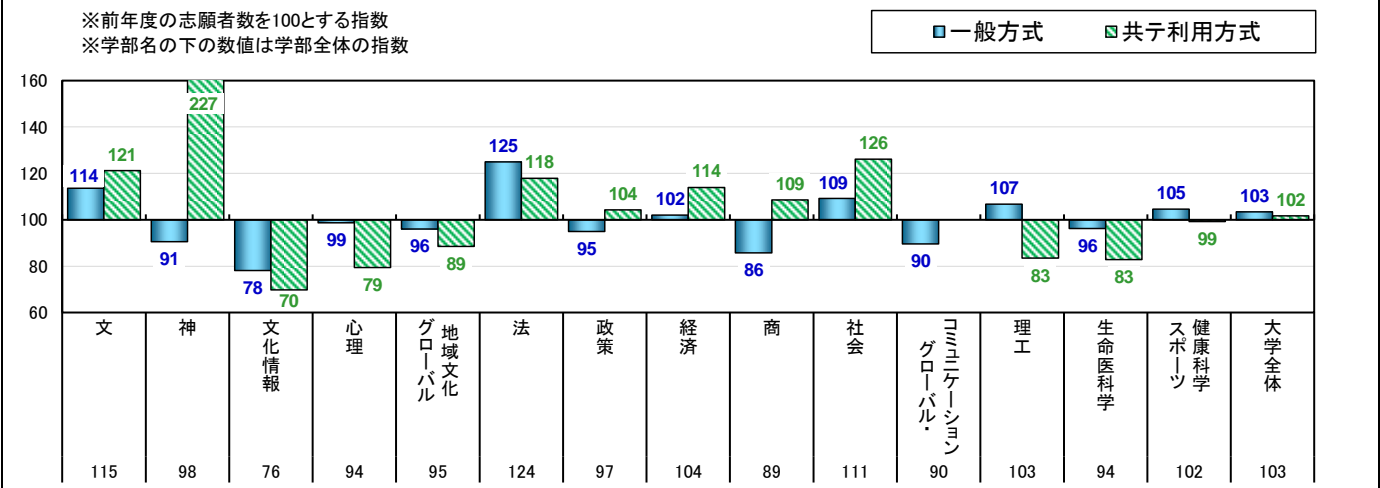


同志社大：大学全体では4年ぶりに増加

一般：+1,236人 共テ：+137人



主な入試変更点 選抜方法：理工(情報システムデザイン)〈一般・全学部(文系)〉…廃止
入試科目：文(英文)〈共テ併用・A方式〉…〈共テ〉外+〈個〉口頭試験 ※英語で実施
→〈共テ〉外+〈個〉口頭試験 ※英語と日本語で実施

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、1,373人(103)のやや増加で4年ぶりに増加。方式別では、一般方式(103)はやや増加で4年ぶりに増加、共通テスト利用方式(102)は微増だが3年ぶりに増加。学部別では、法(124)、文(115)は大幅増加、社会(111)は増加、経済(104)、理工(103)はやや増加。一方で、文化情報(76)は大幅減少、前年度唯一増加の商(89)は減少、グローバル・コミュニケーション(90)も減少、心理(94)、生命医科学(94)、グローバル地域文化(95)、政策(97)はやや減少。

〈一般方式〉

- 文(114)は、増加で4年ぶりに増加。学科別では、全ての学科で増加し、(国文)(131)、(哲)(125)、(美学芸術)(115)は大幅増加、(英文)(108)は増加、(文化史)(101)は微増。
- 文化情報(78)は、大幅減少で4年連続減少。方式別では、全ての方式で減少し、〈学部文系〉(68)は前年度唯一増加したが大幅減少、〈A方式・共テ併用〉(73)、〈全学理系〉(76)も大幅減少、〈学部理系〉(88)は減少、〈全学文系〉(93)はやや減少。
- 心理(99)は、微減だが4年連続減少。方式別では、〈全学文系〉(102)は微増だが、〈学部個別〉(96)、〈全学理系〉(97)はいずれもやや減少。
- グローバル地域文化(96)は、コロナ禍の影響もあってやや減少で2年連続減少。コース別では、(グローバル地域文化/アメリカ)(124)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(グローバル地域文化/アジア太平洋)(86)、(グローバル地域文化/ヨーロッパ)(90)はいずれも減少。
- 法(125)は、系統への高い人気もあって大幅増加で3年ぶりに増加。学科別では、全ての学科で大幅増加し、(法律)(127)は4年ぶりの増加、(政治)(118)は2年連続増加。
- 政策(95)は、やや減少で2年連続減少。
- 経済(102)は、微増だが4年ぶりに増加。
- 商(86)は、前年度大幅増加の反動で減少。コース別では、(商/フレックス複合)(80)は大幅減少で5年連続減少、(商/商学総合)(87)は前年度大幅増加の反動で減少。
- 社会(109)は、増加で4年ぶりに増加。学科別では、(社会)(78)は前年度大幅増加の反動で大幅減少だが、その他の学科はいずれも増加。特に、(社会福祉)(174)は前年度大幅減少の反動で激増。
- グローバル・コミュニケーション(90)は、コロナ禍の影響もあって減少で2年連続減少。コース別では、全てのコースで減少し、(グローバル・コミュニケーション/中国語)(66)は2年連続大幅減少、(グローバル・コミュニケーション/英語)(98)は微減で4年連続減少。
- 理工(107)は、やや増加。学科別では、(情報システムデザイン)(126)は〈全学部(文系)〉を廃止したが、大幅増加で4年ぶりに増加、(環境システム)(123)、(機械システム工)(121)は大幅増加。一方で、(機械理工)(76)は大幅減少。
- 生命医科学(96)は、やや減少で3年連続減少。学科別では、(医情報)(112)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(医工)(86)は前年度大幅増加の反動で減少。
- スポーツ健康科学(105)は2年連続減少の反動は小さくやや増加。方式別では、全ての方式で増加だが、〈学部理系〉(109)の増加率が高かった。

〈共通テスト利用方式〉

- 文(121)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、全ての学科で増加し、(哲)(145)、(国文)(140)は大幅増加、(英文)(114)、(美学芸術)(112)、(文化史)(110)は増加。
- 文化情報(70)は、2年連続大幅減少。
- グローバル地域文化(89)は、コロナ禍の影響もあって減少で3年連続減少。コース別では、全てのコースで減少し、(グローバル地域文化/アメリカ)(72)は大幅減少、(グローバル地域文化/ヨーロッパ)(91)は減少。
- 法(118)は、系統への高い人気もあって大幅増加で3年ぶりに増加。学科別では、全ての学科で増加し、(法律)(121)は大幅増加。
- 政策(104)は、やや増加で3年連続増加。方式別では〈共テ・4科目〉(138)は大幅増加だが、〈共テ・3科目〉(93)はやや減少。
- 商(109)は、増加で3年ぶりに増加。

- 社会(126)**は、大幅増加で3年ぶりに増加。学科別では、(教育文化)(201)は2倍以上の激増で3年ぶりに増加、(社会福祉)(159)は前年度に2020年度比19%の志願者数激減した反動で大幅増加。一方で、(産業関係)(37)は激減で3年連続減少し、志願者は1桁になった。(社会)(58)は2年連続大幅減少。
- 理工(83)**は、大幅減少で3年連続減少。学科別では、(数理システム)(127)、(環境システム)(118)は大幅増加、(情報システムデザイン)(106)はやや増加。一方で、(機械理工)(49)、(機能分子・生命化)(61)、(機械システム工)(67)、(電子工)(74)は大幅減少、(インテリジェント情報)(88)、(化学システム・創成工)(88)は減少、(電気工)(94)はやや減少。
- 生命医科学(83)**は、3年連続大幅減少。学科別では、(医情報)(119)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(医工)(67)は大幅減少で4年連続減少、(医生命システム)(78)も大幅減少で3年連続減少。
- スポーツ健康科学(99)**は、微減だが3年連続減少。方式別では、<競技力>(129)は前年度半減の反動で大幅増加。一方で、<5科目>(90)は2年連続減少、<3科目>(91)は3年連続減少。